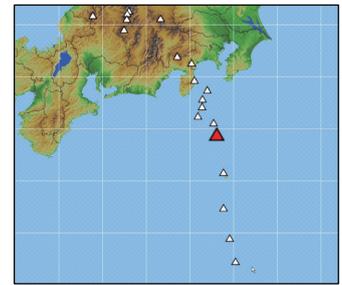


63. 御蔵島 Mikurajima

北緯 33° 52′ 28″ 東経 139° 36′ 07″ 標高 851m (御山) (三角点・御蔵島)



御蔵島全景 北側海上から 2011年7月13日 気象庁撮影

概要

御蔵島は、三宅島の南約 20km にある玄武岩～安山岩質の成層火山である。海面上に露出する部分は、直径約 5km、最高点は御山 (850.9m)、体積約 8.2km³ であるが、海面下の部分も含めると直径約 14km、比高 1800m 近いかなり大きな火山である。島の周囲は最大 500m に達する海食崖に囲まれ、河川も発達して、火山の原地形はかなり失われている。一色 (1980) は、御蔵島火山を主に玄武岩からなる主成層火山体と、南東部の安山岩溶岩ドーム群 (ツブネヶ森-ヤスカジヶ森溶岩ドーム群) の 2 つの単元に分類した。1 万年前以降の活動はツブネヶ森-ヤスカジヶ森溶岩ドーム群の形成 (と黒崎高尾山?) に限られる。構成岩石の SiO₂ 量は 48.4 ~ 64.0 wt.% である。

地形図

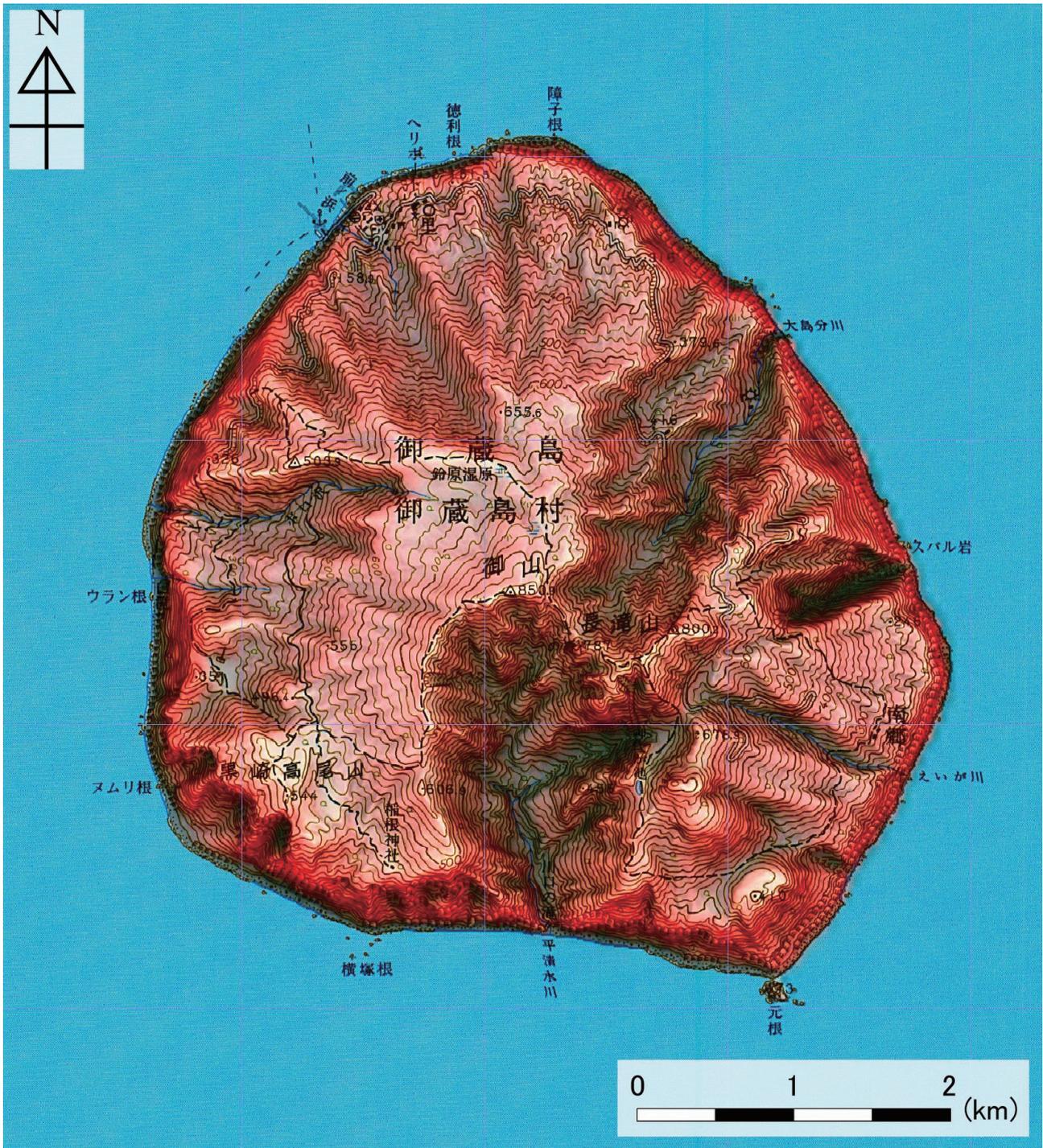


図 63-1 御蔵島の地形図.

国土地理院発行の5万分の1地形図(御蔵島)及び数値地図50mメッシュ(標高)

地質図



図 63-3 御蔵島火山地質図 (一式・他, 1980).

噴火活動史

・過去 1 万年間の噴火活動

ツブネヶ森-ヤスカジヶ森溶岩ドーム群噴出時に放出されたと考えられるテフラは、火砕サージ、降下軽石からなり、7300 年前のアカホヤ火山灰の上位にある。またテフラ中から採取された炭化木片からは 5450 ± 90 、 5280 ± 90 yBP の年代値が得られており (杉原・嶋田, 1999)、およそ 6300 年前に溶岩ドーム群の形成があったと考えられる。

噴火年代	噴火場所	噴火様式	主な現象・マグマ噴出量
20←→7.33ka ²	黒崎高尾山付近 ²	マグマ噴火 ²	火砕物降下。
6.4←→6.2ka ²	ヤスカジヶ森-ツブネヶ森 ^{1,2}	マグマ噴火 ^{1,2}	火砕サージ、火砕物降下、溶岩ドーム。 マグマ噴出量は0.03 DREkm ³ 。 ¹

※噴火イベントの年代、噴火場所、噴火様式等については、(独)産業技術総合研究所の活火山データベース(工藤・星住, 2006-)を参考とした。なお、年代は暦年代で示す。表中の「ka」は「1000 年前」を意味し、西暦 2000 年を 0 ka として示した。

A←→B: A 年から B 年までの間のどこかで起こった噴火イベント

【引用文献】

1. 一色直記 (1980) 御蔵島・蘭難波島及び銭州地域の地質。地域地質研究報告(5 万分の 1 地質図幅), 地質調査所, 35p.
2. 杉原重夫・嶋田 繁 (1999) 伊豆諸島, 御蔵島火山における最新の噴火活動について。日本火山学会講演予稿集 1999, 2, 13.

・有史以降の火山活動

記録に残る火山活動はない。

近年の火山活動

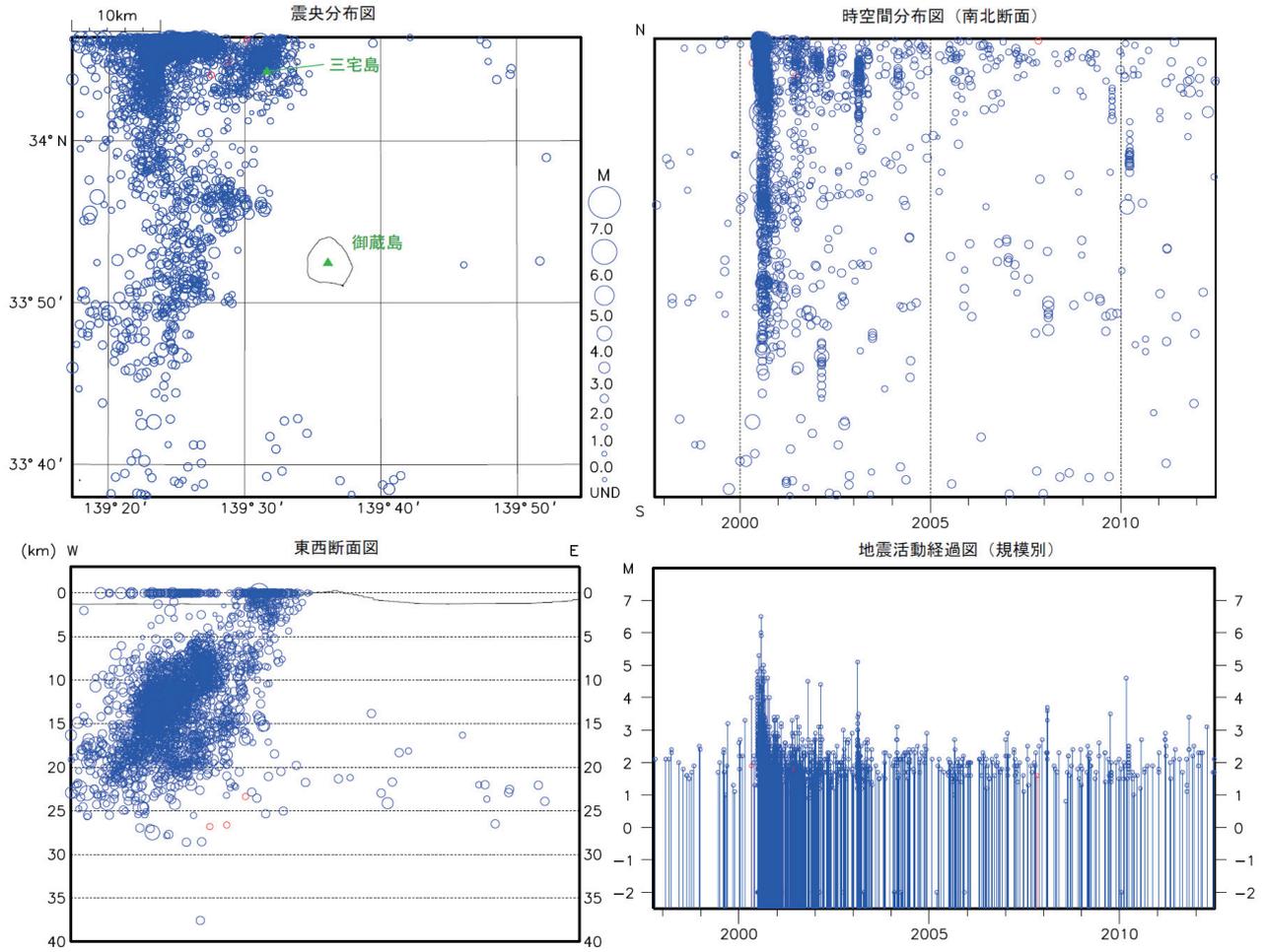


図 63-4 広域地震観測網による浅部の地震活動(青)及び深部低周波地震活動(赤)
(1997年10月1日~2012年6月30日).

防災に関する情報

①避難実績及び入山規制等の実績

いずれもなし

社会条件等

①人口

島内人口：317人（2011年11月1日現在の御蔵島統計）

山麓の居住区等：集落は島の北縁にある里地区の1ヶ所のみ。

②国立・国定公園・登山者数等

・富士箱根伊豆国立公園 御蔵島

・年間観光客数：約1万人（東京都三宅支庁管内概要平成22年版）

・年間登山者数：不明

③付近の公共機関

機関・部署名	所在地	電話番号
御蔵島村役場	東京都御蔵島村字入かねが沢	04994-8-2121

④主要交通網

・島外：船舶（東海汽船）

ヘリコプター（東邦航空愛ランドシャトル）

・島内：不明

⑤関連施設

なし

関係する主な気象官署

機関・部署名	所在地	電話番号
東京火山監視・情報センター	（気象庁本庁）東京都千代田区大手町1-3-4	03-3212-8341
東京管区気象台総務部業務課	東京都千代田区大手町1-3-4	03-3212-2949

気象庁および大学等関係機関の観測網

※ 同一地点に複数の計器を設置している場合には、観測点の位置を●で示し、その周囲に設置している観測点の種類を示している。



国土地理院発行の5万分の1地形図(御蔵島)

凡 例		
(気象庁)	(国土地理院)	(東京都)
● 震度計	★ GPS	○ 地震計(短周期)

図 63-5 観測点位置図.

引用文献

- 一色直記 (1980) 御蔵島・藺灘波島及び銭洲地域の地質. 地域地質研究報告(5万分の1地質図幅).
- 海上保安庁 (1996) 三宅島 日本・南方諸島 : 海底地質構造図. 沿岸の海の基本図(5万分の1), 6364¹⁻⁸, 海上保安庁.
- 杉原重夫・嶋田 繁 (1999) 伊豆諸島, 御蔵島火山における最新の噴火活動について. 日本火山学会講演予稿集, 13.